

第16期活動計画

1. 活動方針

会員数が減少しつつある中で、会員拡大に向けた取り組みに力を入れていく。また「発信する JUDI」「社会に貢献する JUDI」としての活動をさらに充実していく。具体的には、会員拡大策として(1)若手・中堅層の積極的な勧誘、(2)リタイア層を対象にした顧問や OB 会員などの検討、(3)準会員制度の見直しと JUDI サポーターの獲得、が考えられる。発信・社会貢献活動としては、美しい都市ランキング、美しいさとランキングの検討と公表を通し JUDI の存在を PR する。

2. 活動内容

(1) JUDI リーフレットの作成

リーフレットは発足時に作成したものしかなく、JUDI がこれまでどのような活動をしてきたのかを伝えるリーフレットがない。リーフレットは会員を勧誘する際に不可欠であり、内容を一新して活用を図る。

(2) ホームページの充実

ホームページがリニューアルされた。徐々に活用されるようになってきてはいるが、現段階では中身がまだ不十分と言える。16期は広報委員会内に HP の管理担当を設置する方針であり、日常的な情報発信の条件は整いつつある。

現段階でウェブによる情報発信をしているのは北海道、関東、関西、九州ブロックである。今後は HP を活用することで、他のブロックの情報発信を支援していく。

(3) 入会手続きの簡素化

JUDI の入会手続きは、用紙に必要事項を記入し、顔写真を貼付する形式になっている。また事務手続きが煩雑である。入会申し込み書を電子化し、添付ファイルでダウンロードしてメールでも入会手続きを可能にすることを検討する。

(4) サポーターの獲得

JUDI の活動が活性化し、認知度がより高まるよう、JUDI 応援団（ファンクラブ）とも言うべきサポーターを増やす。都市景観に関心のある個人や NPO に呼びかける。サポーターには各種イベントの案内や情報も会員並みに届くなど、具体的な特典も検討する。

(5) 協力法人制度の見直し

協力法人のメリットがわかりにくい。このことが協力法人の減少の一因になっているとも考えられる。情報交換や商品開発の面でのメリットを明確にする必要がある。